

速報

宮崎大学大学院(修士課程)教育学研究科 日本語支援教育専修

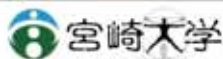
日本初の専修、17年4月開設(予定)に向けて準備着々!

広がる・・・
私たちの夢
私たちの未来

《日本語教育専門家養成》

<p>〈開教予定授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語教育学特論 比較言語教育学特論 日本語教育実習 日本語教育文法特論 言語本質論特論 言語教育学特論 翻訳論特論 日本語習得研究特論 異文化理解教育特論 文学と社会特論 日本人論 アメリカ言語文化特論 中華文化圏研究特論 ヨーロッパ言語文化特論 アフリカ論特論 イスラム言語文化特論 キリスト教研究特論 多文化共生論特論 植民地文学研究特論 言語教育政策研究特論 多民族文化教育特論 ジェンダー論特論 人間共生教育特論 人間共生教育特論演習 	<p>〈相当予定教員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 長友和彦 平瀬 清 井上修一 藤井久美子 早野慎吾 吉田好克 横山彰三 玉田吉行 大羽 武 小川さく文 坂口佳世子 岡林 稔 河野富士夫
---	--

モデル 教育文化学部 入道土存子



UNIVERSITY OF MIYAZAKI

宮崎大学大学院修士課程

教育学研究科学校教育専攻

日本語支援教育専修

平成17年4月設置(予定)

〈お問い合わせ先〉

宮崎大学教育文化学部教務厚生係
〒889-2192 宮崎市宇園本花台西1丁目1番地 TEL. 0985-58-2891 FAX. 0985-58-2892
ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp/educul/educul.html>

- ・「学校教育専攻」における国内初の「日本語支援教育専修」!
- ・幼小中高の「専修免許状」が取得可能(課程認定申請中)!
- ・13人の教員による教育研究指導体制!
- ・文化庁(旧 12)提示の5領域をカバーした教育内容!
- ・「日本語教育能力検定試験」対応!
- ・あらゆる分野の専修教員・社会人・一般学生の入学歓迎!

地域へ・・・そして

地域から・・・世界へ

(学生募集ポスター)

< 日本語支援教育専修案内 >

(宮崎大学大学院教育学研究科学校教育専攻)

本専修は、帰国・外国人児童生徒の教科指導・生活指導に必要な日本語支援教育の知識・能力を身につけた教員を養成するために日本で初めて設置されたもので、言語、言語と教育、言語と心理、言語と社会、社会・文化・地域の5領域にわたる幅広い教育内容に沿ったカリキュラムに特徴があります。

日本語教育学特論、日本人論、日本語教育文法特論、イスラム言語・文化特論、アフリカ論特論など、25の講座を開く予定です。

< 講義担当予定者 >

長友和彦、平瀬清、早野慎吾、吉田好克、横山彰三(医)、玉田吉行(医)
大羽武(医)、小川さくえ、坂口佳世子、藤井久美子、井上修一、河野富士夫
岡林稔(副学長)

< 日本語研修合宿を実施 >

本年8月、岡山県倉敷市で早野慎吾助教授は岡山県倉敷市で研修合宿を実施、日本語教育能力検定試験合格を目指す学生20名が参加しました。

(写真右：早野助教授)



< 説明会を実施 >

日本語支援教育専修の説明会を福岡(11月6日・7日、福岡ガーデンパレス)で行ないました。熊本(11月13日・14日、熊本市国際交流会館)、宮崎(11月21日・24日、カーノ宮崎8階ガガイト)でも予定しています。



福岡会場<福岡ガーデンパレス>

< 開設に向けての研修会を実施 >

平成 16 年 4 月開講に向けて、研修会を実施しています。

- 準備会議 9月27日(月) 10:30 ~ 12:30
研究会、講演会、入試、説明会、研究誌などについての協議
- 1回研修会 10月12日(火) 16:30 ~ 17:00
発表：長友和彦「日本語支援教育とマルチリンガリズム」
- 2回研修会 10月26日(火) 16:30 ~ 18:30
発表：横山彰三「人、言葉、文化
イラン・ペルシア語研究を手がかりにして - 」
藤井久美子「現在の台湾社会における日本・日本語ブームについて
- 批判的見地からの一考察 - 」
- 3回研修会 11月9日(火) 16:30 ~ 18:30
発表：早野慎吾「日本語のアクセントに関する研究」
玉田吉行「翻訳論特論？アフリカ文化論特論？」
- 4回研修会 11月下旬予定、以降も隔週で研修会を予定しています



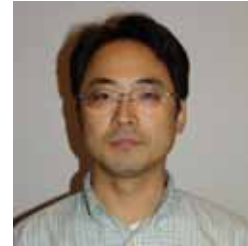
横山助教授はイランに、藤井助教授は台湾に！

「文科省 2004 年度海外先進教育実践プログラム」採択

日本語支援教育専修担当者の中から横山彰三助教授と藤井久美子助教授が2004年度海外先進教育実践プログラムに採択され、それぞれ11月からイランと台湾に派遣されます。

横山助教授は「イスラムに関する教育プログラムの構築」、藤井助教授は「日本語支援教育の充実と国際交流の推進」がテーマです。二人からのメッセージです。

横山：イランはこれまでに3回ほど訪問したことがありますが、今回のような長期間ではありませんでした。8ヶ月間を是非有効に使いたいと思っています。ちょうど滞在中にある「アーシュラー」「ノウルーズ」といったイラン特有の行事をととても楽しみにしています。もともと言語学が専門で、ペルシア語を研究しています。今回はテヘランのパヤーメヌール大学にお世話になりますが、大学だけでなくできればイラン全土を見て回ろうと思っています。帰国後、大学院の講義は「イスラムの言語と文化」を担当します。いろいろなネタをたくさん仕入れてくるつもりです。



藤井：台湾では、台北・故宮博物院のそばにある東呉大学の日本語文学系で研修します。そもそも、台湾における日本語教育の歴史は、日本による植民地統治期に始まりました。今でも台湾で年配の方々が日本語を話せるのは、この時代に日本語習得を強制されたからです。他方、現在の日本・日本語ブームを支えるのは、植民地時代を知らない若い世代です。こうした若年層には英語も使える多言語話者が増えてきました。そこで、これからの8ヶ月間は多言語化する台湾を体験したいと思います。皆さんも、中国語だけじゃない台湾を、日本語教育を通して是非見てみてください



< 学長裁量経費、交付される >

大学院日本語支援教育プログラムのモデルを内外に提示できるように、『日本語支援教育専修』の教育内容に関する共同研究の推進プロジェクトに420万円の学長裁量経費が交付されました。

研究誌「日本語支援教育研究」を発刊予定！

研究の成果を集めた研究誌を三月に発刊の予定です

< 問合わせ・連絡先 >

宮崎大学教育文化学部
長友和彦研究室

0985-58-7570
nagatomokz@cc.miyazaki-u.ac.jp



長友和彦教授



あとがき・・・統合という名のリストラ、予算の削減、学生数の減少などの厳しい状況下で、何とか生き残りをかけた試みとして、日本で初めての日本語支援教育専修が何らかの成果を出せまようにと祈っています。（編集：玉田、横山）